

## 特定個人情報保護評価書（素案） 用語解説

※上から50音順・アルファベット順

項番	索引	用語	解説	備考
1	い	医療費通知	医療機関等を受診し要した費用（自己負担及び療養等給付）の通知。	
2	い	インポート、エクスポート	データベースに入力されるデータ、データベースから出力されるデータ。	
3	う	ウィルスパターンファイル	世の中に存在する様々なコンピュータウィルスの特徴を記録したファイル。	
4	き	記号番号	保険加入世帯に付与される記号と番号。（健康保険の各種事務においてキー項目となる）	
5	き	擬制世帯主	国民健康保険加入者がいる世帯における国民健康保険に加入していない世帯主。	
6	き	給付関連証	医療機関等で保険給付の減額・減免・限度額の適用を受ける際に提示することになる各種証。	
7	こ	国保情報集約システム	区市町村ごとに保有する資格取得・喪失年月日の情報を都道府県単位で集約するシステム。	
8	こ	国保総合システム	新宿区と東京都国民健康保険団体連合会を専用線で接続し、主に診療報酬明細（レセプト）情報の授受・点検・審査等で使用するシステム。 ※国保中央会が開発した全国標準システム	
9	こ	国保連合会 （東京都国民健康保険団体連合会）	国民健康保険法第83条に基づき、東京都の保険者（区市町村・国民健康保険組合）が共同して目的を達成するため、東京都知事の認可を受け設立された団体。	
10	こ	個人番号	住民一人ひとりに付与される12桁の番号。（マイナンバー）	
11	し	次期国保総合システム	平成30年4月より稼働を予定している、国保総合システムの改良版のシステム。	
12	し	住基ネットCS	住民基本台帳ネットワークシステムで使用するコンピュータ。	
13	し	住民基本台帳ネットワークシステム （住基ネット）	住民基本台帳を基礎とし、住民の利便性の向上や行政の合理化に資するために設置されている全国的なネットワークシステム。	
14	し	住民記録システム	住民情報オンラインシステムで取扱う事務のうち、住民基本台帳に関する事務を取扱うシステム。	
15	し	住民情報オンラインシステム	新宿区の住民情報のほか、国保情報・税情報等のデータを記録・管理しているシステム。	
16	し	情報提供ネットワークシステム	国や他機関が、番号法による特定個人情報の照会・提供を行うために使用するシステム。	
17	し	ジェネリック差額通知	生活習慣病等で処方されている薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合の利用差額を試算した通知。	

項番	索引	用語	解説	備考
18	せ	税務情報トータルシステム	住民情報オンラインシステムで取扱う事務のうち、住民税に関する事務を取扱うシステム。	
19	せ	セキュリティゲート	IDカード認証や生体認証により正しく認証された者だけの通行を許可する仕組み。	
20	せ	セキュリティパッチ	ソフトウェアに保安上の弱点（セキュリティホール）が発覚した場合に配布される修正プログラム。	
21	そ	総合行政ネットワーク（LGWAN）	地方公共団体を相互にネットワーク接続することによって、情報の共有やコミュニケーションを促進するシステムであり、そのセキュリティ能力は非常に高いとされている。運営主体は、地方公共団体情報システム機構。	
22	た	滞納整理支援システム	地方税に関する事務及び国民健康保険に関する事務のうち、滞納処分事務を中心に取扱うそれぞれの事務における個別システム。	
23	た	団体内統合宛名等システム	新宿区で保有している既存システムの各種情報と宛名情報（氏名・住所などの基本4情報や送付先住所など）を、番号法による特定個人情報の照会・提供のために統合・管理するシステムのこと。	
24	た	団体内統合宛名番号	新宿区内で個人を一意に特定できる番号で、団体内統合宛名等システムで作成・管理されている番号。	
25	た	短期証・資格証明書	国民健康保険に加入している者のうち、国民健康保険料を滞納している者に交付される保険証。	
26	ち	地方公共団体情報システム機構	住民基本台帳法、電子署名に係る地方公共団体の認証業務に課する法律及び番号法に基づく事務等の処理を行うため、平成26年4月1日に設立された地方公共団体が共同運営する法人。	
27	ち	中間サーバー	情報提供ネットワークシステムと新宿区の庁内システムの情報授受を仲介するために設置されているシステム。	
28	ち	中間サーバー・プラットフォーム	中間サーバーの拠点。	
29	ち	庁内連携システム	住民情報オンラインシステムと庁内の他業務システムを接続しデータ連携するシステム。	
30	て	提供・移転	「提供」とは、情報提供ネットワークシステムを使用して他機関（国・他地方公共団体等）へ特定個人情報を渡すこと。 「移転」とは、情報提供ネットワークシステムを使用しないで庁内連携システム等により同一機関内の他部署へ特定個人情報を渡すこと。	
31	て	電話催告システム	地方税に関する事務及び国民健康保険に関する事務のうち、電話催告事務を中心に取扱うそれぞれの事務における個別システム。	
32	と	特定個人情報	個人番号をその内容に含む個人情報。	

項番	索引	用語	解説	備考
33	と	特定同一世帯所属者	国民健康保険加入者で後期高齢者医療制度へ移行した者。	
34	に	日本年金機構	国（厚生労働省）から委任・委託を受け、公的年金に係る運営業務を行っている法人。	
35	ね	年金特別徴収 （年金特徴）	公的年金からの引き落としにより住民税や国民健康保険料を徴収する方法。	
36	は	バッチ	自動的に行われる一定・一連のシステム処理。	
37	ひ	被保険者証	国民健康保険に加入している者に交付される保険証。	
38	ふ	ファイアウォール	外部との通信をコントロールし、外部からの不正なプログラムの侵入を防ぎ、内部コンピュータやネットワークの安全性を維持するシステム。	
39	ふ	付加給付	出産一時支援金や葬祭費の給付。	
40	ふ	符号	情報提供ネットワークシステムでの特定個人情報の照会・提供に際しに用いる個人の識別子。	
41	ふ	プライバシーマーク	個人情報保護に関して一定の要件を満たした事業者が使用を認められるマーク。	
42	ふ	振る舞い検知	システム内部のプログラム挙動を常時監視し、正規プログラムにはない不審な挙動を発見すると、その挙動を阻止する検知の仕組み。	
43	み	ミドルウェア	様々なソフトウェアから共通して利用される機能を提供するソフトウェア。	
44	も	モバイルレジ	納付書に印刷されたバーコードを携帯電話で読み取り、ネット銀行を利用して納付する方法。	
45	り	療養等給付	疾病や負傷により医療機関等を受診した場合に受けることができる給付。（自己負担以外の費用）	
46	O	OS	オペレーティングシステムの略称。 ソフトウェアの種類の一つで、機器の基本的な管理や制御のための機能や、多くのソフトウェアが共通して利用する基本的な機能等を実装した、システム全体を管理するもの。	
47	V	VPN	ヴァーチャル・プライベート・ネットワークの略称。 公衆回線上に仮想的に作る専用回線で、他者からの覗き見や改ざんなどの不正アクセスを防ぎ、安全な通信を確保するためのもの。	